

法人(事業所)理念		リフライズは、子どもたちの「できる」を広げ、未来への一歩を支える場所です。 子どもたちが放課後の時間を有意義に過ごしなが、未来への希望と自信を育むことを目指しています。		
支援方針		<ol style="list-style-type: none"> 安心できる居場所の提供 学校や家庭以外の第3の安心できる場所として、子どもたちがリラックスしながら自分のペースで過ごせる環境を整えます。 一人ひとりの可能性を尊重 子どもの特性や個性を理解し、「できない」ではなく「どうすればできるか」に目を向け、成長を支援します。 社会性と自立のサポート コミュニケーション能力や日常生活のスキルを育む活動を通じて、子どもたちの自立を応援します。 家族とともに歩む支援 保護者との連携を重視し、家庭や学校との橋渡しを行いながら、子どもたちを包括的に支えていきます。 楽しみながら学ぶ機会の提供 遊びや学びを組み合わせた活動を通じて、子どもたちが楽しみながら新しいことに挑戦し、成功体験を積み重ねられるよう支援します。 地域とのつながりを築く 地域社会と連携し、子どもたちが地域の一員として成長できるよう、支援の輪を広げていきます。 		
営業時間		10 時 から 19 時 まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持のため、定期的に心身の状態の把握をします。 生活習慣や生活リズムの形成が出来るよう、通所時間の確定、活動にメリハリをつけます。 基本的な生活スキルが獲得できるよう、着替えや食事、トイレ動作の確認、指導、買い物やクッキングなどの活動を行います。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 健康的かつ、基本的な日常動作(姿勢保持や移動能力等)に必要な身体作りの為、粗大運動、微細運動、感覚遊びなどの活動を取り入れます。 (バランスボールやトランポリン、公園あそび、おりがみやはさみ、スライム、クッキングなど) 触覚、前庭感覚、固有感覚にアプローチをし、姿勢保持や巧緻動作、他者とのコミュニケーションに必要な土台作りをします。 感覚特性に合わせた環境設定を行います。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 空間や時間等の形成を図ります。視覚支援を活用したりすることで、見通しを持った自主的な行動へつなげます 自分の得意なことや苦手なことなどを知り、自己理解をしていくことを促します 自分の気持ちや行動に気付いて調整しようとするなど適切な行動への対応の支援を行います。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動等の機会を通じ、コミュニケーション(言語・非言語のやり取り)により、相手の意図を理解することや自分の考えを伝えられるよう、また状況に応じた言葉選びが出来るよう支援します。 活動中の意図的な声掛け等により、ご利用児童ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援します。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 活動中や活動前後の事業所の支援スタッフとの密なやり取りにより、多様な他者との関わりの機会および環境を提供することで人間関係の形成を促します。 他者の気持ちや意図を理解したり、適切な行動をしたりするなど、社会に適応するために必要なソーシャルスキルの獲得を支援します。 感覚機能や運動機能を刺激する集団活動の提供により、他の児童と活動に参加することの楽しみを感じることで、社会性を促します。 ご利用児童ひとりひとりの関心や理解度に合わせつつ、ルールのあるゲーム活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援します。 公共施設や公共交通機関を使った活動、イベントなどを通して、社会スキルの獲得を目指します。 自分の感情や気持ちなどに関心を持ち、情緒の安定を図ります。 		
家族支援	ご本人やご家庭の不安や悩みを継続的にお聞きし、家庭や学校での様子の把握や、支援情報等、目標の達成状況を共有します。	職員の質の向上	職員の意識改革と倫理観の向上のため、以下のことを重視しています	
移行支援	併行利用先や学校と連携を図り、事業所以外の生活や育ちの場である併行利用先や学校等での生活や支援の充実のため、必要に応じ個々の特性を踏まえた上で方法を検討したり、同年代の子どもと仲間づくり等の支援を行います。		【子どもの権利擁護】 障害児通所施設で働く職員一人ひとりが、子どもの権利擁護の意識を持ち、常に子どもの最善の利益を考え行動する 【倫理的な行動】 職員は、高い倫理観を持ち、責任感を持って業務に取り組む 【研修】 定期的な研修を通して、法令や倫理に関する知識を深め、意識を高める 【相談しやすい環境】 職員同士が相談しやすい環境を作ることで、問題の早期発見・解決に繋げる	
地域支援・地域連携	保護者、支援員が統一した支援を行えるよう個々の特性に応じた環境設定を整えます また、必要に応じて関係機関(学校や医療機関、他事業所など)との連携を図り、適宜事業所または自宅での支援方法や環境調整に関する相談、助言等を行います。			
主な行事等		季節のイベント(正月、節分、バレンタイン、ひな祭り、こどもの日、バーベキュー、プール、海水浴、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、餅つきなど) クッキング(料理、お菓子)、公園遊び、果物狩り、公共の施設への外出、公共交通機関を使っでの外出 避難訓練		